

「光化学スモッグ」って何？



工場や自動車などから出された排気ガスは、太陽の光を受けると化学反応を起こして、「光化学オキシダント」と呼ばれるものになる。夏、日差しが強く、気温が高く、風が弱い日は、「光化学オキシダント」が空気の中にたまり、空が白いモヤがかかったようになり、遠くの山や建物が見えにくくなる。この状態のことを光化学スモッグというんだよ。光化学スモッグをあびると、目やのどなどを痛めてしまうんだ。

光化学スモッグ注意報が発令された日と 発令されていない日の空の違い



「防災情報Eメール」

横浜市では、光化学スモッグ注意報などが発令されたときに、携帯電話やおうちのパソコンにEメールでお知らせを送っているよ。登録して使ってみてね。

登録はこちらから
<http://www.bousai-mail.jp/yokohama/>

もっと横浜の環境について知りたいと思ったら！！

このリーフレットは平成25年版「横浜の環境」(横浜市環境管理計画年次報告書)をもとに、環境について子ども向けにわかりやすくまとめたものです。より詳しく環境の現状や横浜市の取組を知りたいと思ったら「横浜の環境 本編・資料編」も読んでみてください。

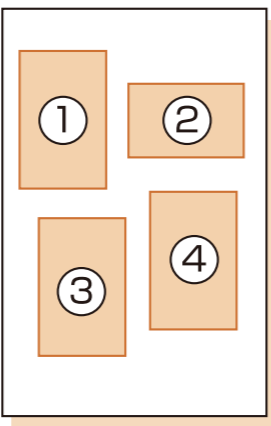
【入手方法】

- 横浜市環境創造局ウェブサイトからダウンロード
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/kanri/nenjihoukoku/h25/>
- 市役所、区役所、市立図書館等で閲覧 ・ 市役所1階市民情報センターで販売(本編・資料編セット1,000円)

横浜市の環境についてのホームページ (キッズページ)

- 環境創造局WEBキッズページ
 - みんなの環境のページ
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kids/>
 - 地元ヨコハマでとれた農畜産物を食べよう!
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/tisantisyo/kids/>
- 資源循環局キッズページ「イーオタウン」
<http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/subshimin/study-event/kankyogakusyuu.html>

表紙の写真の解説



- 春部門最優秀賞
タイトル「絶景」
受賞者 村松 義正さん
- 夏部門最優秀賞
タイトル「浅瀬を歩く」
受賞者 綱島 基之さん
- 秋部門最優秀賞
タイトル「ハッピーハロウィン」
受賞者 長谷川 修さん
- 冬部門最優秀賞
タイトル「雪ニモ負ケズ」
受賞者 松山 進さん

横浜の環境について考えてみよう!

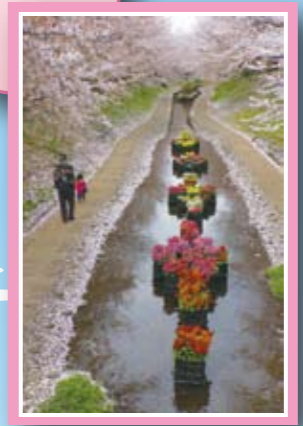
～子ども版「横浜の環境」～

このリーフレットは、みんなに知ってもらいたい身近な環境のことを、わかりやすくまとめたものだよ。
ぼくといっしょに横浜の環境について考えてみよう!



「エコぼと」キャラクター エコぼん

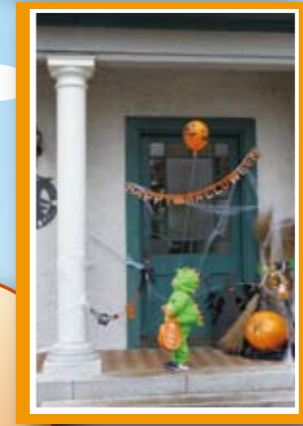
春



夏



秋

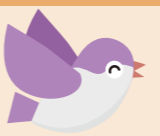


冬



第41回「ヨコハマ・四季の緑」フォトコンテスト入賞作品
(主催：公益財団法人横浜市緑の協会)
※作品については4Pへ

「生物多様性」って知ってる？



いろいろな環境にいろいろな生き物があたがいに支えあい、バランスを保ちながらいっしょに存在していることを「生物多様性」というよ。みんなの暮らしは、水や食べ物、木材、薬など、「生物多様性」からの恵みに支えられているんだ。

絶滅の危機にある 野生動物の繁殖

横浜市の繁殖センターでは、絶滅の危機にある野生動物を守るための研究を行っているよ。



繁殖センターで繁殖したカンムリシロムク

田んぼの生き物調査

田んぼ、水路、ため池、雑木林などは、たくさんの生き物にとって大切な生息の場所なんだ。
平成24年7月から8月に、市内6か所の田んぼで、そこにすむたくさんの生き物を調べる市民参加の調査を行ったよ。





横浜の気温って上がってるの？

横浜市は、過去100年で約2.7℃上がっているんだよ。

石油などの燃料を燃やすことで発生する二酸化炭素などの熱を保ちやすいガス（温室効果ガス）が空気中にたくさんたまり、気温が少しずつ高くなってきたからと考えられているんだ。これを「地球温暖化」というよ。

地球の気温が上がると、北極や南極の氷がとけて海面が上昇したり、雨の降りかたが変わって日照りや洪水などを引き起こしたり、人間や他の生き物に大きな影響を与えるおそれがあるんだ。

地球温暖化のしくみ



こども『エコ活。』大作戦！

市内小学生（3～6年生）の児童のみんなに夏休み中、地域や家庭で省エネなどをテーマとした「エコ活。」に取り組んでもらい、取り組んだ結果を発表してもらっているよ。



横浜の緑を守ろう！！



緑には様々な働きがあり、大切な緑を守り、つくっていくために、横浜市では様々な取組を行っているよ。

緑の様々な働き



いざ！という時に公園や農地は避難場所になるんだ



緑のおかげで生き物も人も住みやすいまちなちになるよ



緑があると夏でも涼しいね



森や田んぼは洪水を防ぐよ



緑があると美しいまちなちになるね



農地がそばにあると新鮮な野菜が食べられるよ

緑を守る取組

大切な緑がなくならないように、土地を持っている方に協力してもらい、森や農地を守る取組や、まちなちの緑をつくる取組を進めているよ。

横浜でとれた野菜や果物を食べよう！



横浜市は、実は農業がさかんなまちなんだ。ぜひ地元・横浜でとれた野菜や果物を食べよう！地元の農地でとれたものを食べることを「地産地消」というよ。地産地消には良いことがたくさんあるんだ。近くでとれた野菜や果物は、スーパーなどに運ぶ距離が短いから、燃料をあまり使わず、環境にもやさしいよ。農家がひらいている直売所で野菜や果物を買うと、おいしい食べ方やどのようにして作っているかなどいろいろ役に立つことを教えてくれるよ。農家のことがわかれば、安心して野菜や果物が食べられるね。

横浜でたくさんつくられている野菜は？

- 1位 キャベツ
- 2位 ダイコン
- 3位 トマト
- 4位 ホウレンソウ
- 5位 コマツナ

横浜野菜の生産量全国順位

- コマツナ 全国 2位
- カリフラワー 全国 8位
- キャベツ 全国 10位
- ホウレンソウ 全国 11位
- 枝豆 全国 11位

横浜で農地の多い区は？

- 1位 泉区
- 2位 都筑区
- 3位 青葉区
- 4位 緑区
- 5位 旭区

合言葉は『ヨコハマ3R夢！』



多くの人々が生活している横浜市では、毎日たくさんのごみが出されているんだ。平成24年度に市内から出されたごみの量は約92万トンだったんだよ。

ごみを増やさず、限りある資源を大切に使うために、横浜市は、『ヨコハマ3R夢！』を合言葉に、3Rを実践し、みんなが将来に「夢」をもてるまち・横浜の実現を目指しているよ。

3R

「3R」とは、ごみ減量のキーワードである、3つのRを指す言葉だよ。

「もったいない」という気持ちを大切に、できるところから少しずつ広げていくことが大切なんだ。

Rその1
リデュース (Reduce)
「ごみそのものを減らす」こと

Rその2
リユース (Reuse)
「何回もくり返し使う」こと

Rその3
リサイクル (Recycle)
「資源物を新しい製品に作り変える」こと

「3つの“マイ”でリデュース！！

出かける時は、「マイバッグ」「マイボトル」「マイはし」を持って、楽しくリデュースしよう。

マイバッグ

レジ袋のごみをリデュース！

マイボトル

ペットボトルや缶のごみをリデュース！

マイはし

わりばしのごみをリデュース！



「ヨコハマ3R夢」マスコット イーオ